

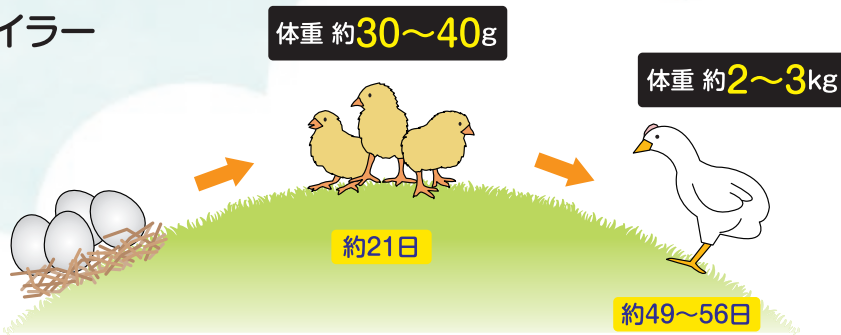
6 ^{よう けい} 養鶏【とり肉の生産】について

とり肉は、主にブロイラーと呼ばれる若どりを育て、みなさんに届けられます。ブロイラーの成長は早く、産まれてから50日程度で出荷されます。

県内のブロイラーを飼う養鶏場^{よう けい じょう}では、1か所で数万～数十万羽の^{けい しや}鶏舎でのびのびと健康的に飼われています。

ブロイラーの一生

ブロイラー



- ブロイラーのひなは、生後約50～60日飼育されます。
- 体重が2～3kg程度で出荷されます。

〈とり肉が食たくに届くまで〉

^{しゅ けい じょう} 種鶏場

オスとメスを交配させてひなとなるたまごを生産します。



たまごを適切な温度・湿度^{しつ}で管理し、元気なひなをかえます。

ふらん場

飼育農場



食たくへ

^{しほくちょう しほり じょう} 食鳥処理場

とちく・解体・包装・冷却^{きやう}まで、ていねいにすばやく処理します。



養鶏場(ブロイラー)で働く人のしょうかい



プライフーズ株式会社
田子第一農場(三戸郡田子町)

プライフーズ株式会社 田子第一農場 生産者/福田夫妻

①ブロイラーを飼うやりがい、おもしろさ

- 生き物の大切な命をたくされているということを常に考え、飼育しています。無事、健康に育ってくれた時は達成感を感じています。
- また、自分が育てたにわとりがスーパーに並び、みなさんの食たくに並ぶことがわたしのやりがいです。



②ブロイラーを飼ううえで重要なこと

- 鶏舎周辺への石灰散布や、舎内の洗じょう・消毒をてっ底することで飼育場を清けつにします。
- また、かん気や温度管理に気を配り、にわとりにストレスがかからないかん境を作ることで、健康なにわとりに育つよう気を付けています。



③みなさんへ伝えたいことやPR

- とり肉は、高タンパク・低カロリーで、さらにムネ肉には抗疲労成分のイミダペプチドという成分が含まれる健康食品です。
- みなさんにたくさん食べてもらい、元気に育ってほしいです。

